

150人の チェロ・コンサート in 神戸

～1000人のチェロ・コンサート 20周年記念

ビゼー / 山本祐ノ介編曲：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

三枝成彰：チェロのためのレクイエム

ゴルターマン：レリジョーンソ

ラッヒナー：セレナーデ

ヴィラ・ロボス：ブラジル風バッハ第5番より「アリア」

フンク：組曲ニ長調

山本直純作曲 / 山本祐ノ介編曲：鎮魂ファンファーレ (※)

サン＝サーンス：白鳥

スカルラッティ：グラマーベ・メヌエット

クレンゲル：讃歌

神戸から世界へ

※首席奏者のみによる演奏



山本祐ノ介 (指揮)



藤森亮一・N響首席奏者
(コンサートマスター)



中村理恵
(ソプラノ)

2018. **11/4** (日) **13:15** 開場 **14:00** 開演



兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

入場料：2,000円 (全席指定)

チケット取り扱い：兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス

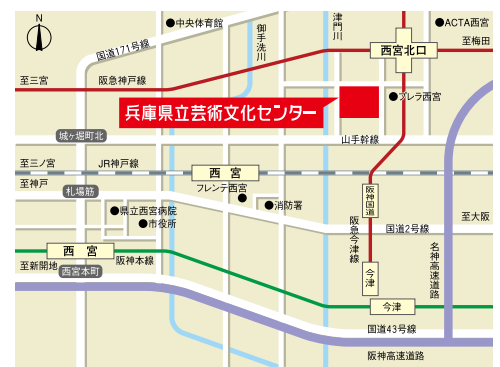
tel.0798-68-0255 (10:00~17:00 ※月曜休み 祝日の場合は翌日休み)

チケットぴあ tel.0570-02-9999 <http://pia.jp/t>
(Pコード：780260)

主催：NPO 国際チェロアンサンブル協会

後援：兵庫県・神戸新聞社

お問い合わせ：office@1000cello.vc tel.090-7272-1367



あの集いから「20年」！

1998年11月29日、3年前に発生した阪神・淡路大震災からの復興に想いを募らせたチェリストたち1013名が神戸ワールド記念ホールに集い、チェロアンサンブルの魅力の世界にアピールしました。この「第1回1000人のチェロ・コンサート」開催から、今年は20周年を迎えます。

この節目の年に、プロとアマチュアたちによるチェロ・アンサンブルコンサートを開催し、さまざまな災害で亡くなられた方々、被災された皆様に心よりの哀悼の気持ちをお届けしたい、そして、あらためて安全・安心で、平和な世界を願う気持ちを国内外に発信したいと考え、企画しました。兵庫県立芸術文化センターの素晴らしい響きをお楽しみください。



指揮：山本祐ノ介 Yunosuke, YAMAMOTO



両親ともに作曲家の家庭に生まれ、早くからピアノ、作曲を学ぶ。また指揮を父、山本直純、靄山和明、川本統脩の各氏に師事する一方、チェロを斎藤建寛、堀江泰の各氏に師事。東京藝術大学を経て同大学院を修了。ハレストリングクアルテットのチェロ奏者、東京交響楽団首席チェロ奏者などを経て、現在ソロチェリスト及び、指揮者として活躍中。指揮者としては、京都市響、

東京ニューフィル、新日本フィル、日本フィル、東京シテイ・フィル、京都フィル室内合奏団などにたびたび招かれるほか、各地のジュニアオーケストラや市民オーケストラを指揮、特にファミリー向けのコンサートでは企画、編曲、指揮、司会をこなし、好評を得ている。2002年に行なわれた「日韓親善チェロコンサート」では、日韓300人のチェリストによる合奏を指揮、'11年より毎年開催されている「チェロ・ kongress・イン・ジャパン（サントリーホール）」に於いてチェロアンサンブルを指揮し、絶賛を博している。'11年に東京ニューフィルハーモニック管弦楽団常任指揮者に就任。また'14年には同オーケストラのメンバーからなる東京ニューフィル・ポップスオーケストラの設立に尽力、『寅さんクラシックコンサート』、『華麗なる映画音楽の世界』（民音主催）『名画座コンサート』（朝日新聞社主催）などの企画で音楽界に新風を巻き起こしている。

'13年にはミャンマー国立交響楽団を指揮し、国立放送局制作の番組に出演。同時にミャンマー国内の盲学校やヤンゴンの日本人学校でのアウトリーチ活動を行なう。以後定期的に招かれ、'14年11月には同オーケストラの国立劇場での公演を指揮し、大好評を博す。'15年ミャンマー国立交響楽団音楽監督兼首席指揮者に就任、わずかの間にオーケストラのレベルを飛躍的に高め、高い評価を得ている。

クラシックコンサートはもとより、アニメーションや戯曲などを含む広い分野で作、編曲、指揮、及びチェロ演奏を手がけているが、そのすべての活動に於いて、人々の心に安らぎと勇気を与えるため、心あたたまる表情豊かな音楽を追究している。

コンサートマスター：藤森亮一 Ryoichi, FUJIMORI



1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。1990年ドイツ

に留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴア・クアルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティエーナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴア・クアルテットとしてアリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師を務め後進の指導にあたっている。

ソプラノ：中村理恵 Rie, NAKAMURA



兵庫県宍粟市出身。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。同大学音楽専攻科及びオペラ研究員修了。大学主催オペラ、市民オペラにて『椿姫』アンニーナ、『ランメルモールのルチア』アリーサ、『魔笛』パミーナ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテルで出演。これまでに塚田美紀・元吉恵子・田中誠の各氏に師事。